

Vol. 78 2016年3月10日発行 たんぽぽ薬局 志木店

日ごとに暖かさを感じられるようになりましたが、皆様いかがお過ごしですか？今回は春に多い病気として『**リンゴ病**』のお話をします。

## リンゴ病とは？



皮膚の発疹を主症状とする正式名称「伝染性紅斑」は両頬がリンゴのように赤くなることから別名「リンゴ病」と呼ばれています。

## 原因と感染

病源体はヒトパルボウイルス B19 (Human parvovirus B19) というウイルスです。春から初夏にかけて流行することが多いです。感染ルートは、咳やくしゃみなどでウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」とウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」の二つがあります。



## 症 状

両側の頬の発疹から始まり、1~2日後には肩から腕、大腿に赤い発疹が出現し、数日後にはまだらな網目状の様になります。発疹は痒みを伴うことが多く、通常5~7日で消えていきますが、いったん消えた発疹が日光や運動などによって再び出現してくることがありますので注意が必要です。

また、発疹が出る1週間~10日以前に発熱・筋肉痛・倦怠感がみられることがあります。

※似たような症状でも**膠原病**など他の病気の場合もあります。  
自己判断せず、専門医に診てもらいましょう。

## 妊娠時の注意

特に妊娠初期に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあります。感染したのに症状が出ない場合（不顕性感染）もありますので、妊娠中に子供が感染した場合は必ず産婦人科で相談するようにして下さい。

## 予 防

予防には、手洗い・うがい・咳エチケットが有効です。残念ながら、予防接種はありません。



## 治 療

「リンゴ病」のウイルスに対する治療はありませんが、強い痒みや高い発熱がある場合にはそれに応じた薬が処方されます。強い痒みや高い発熱がある場合には受診しましょう。

## たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

